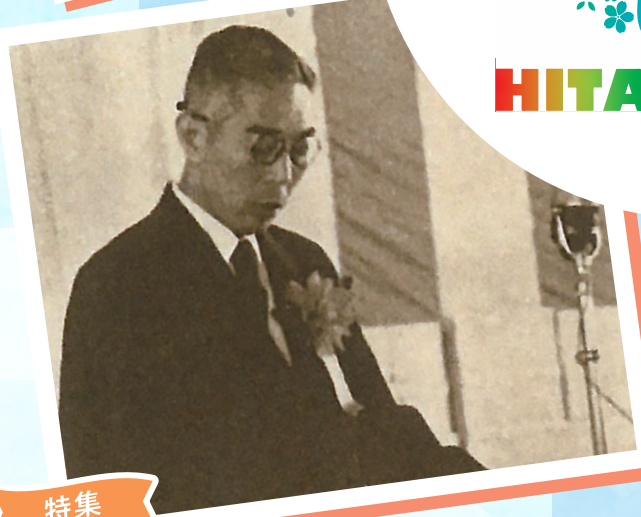




特集

市制施行70周年・合併20周年記念

宮田市長×マシコタツロウさんスペシャル対談 ～輝く未来～

市のあゆみ ～時をかさね～

私たちのひたちおたLOVE ～ともにつながる～

記念行事の今後の予定 ～まちづくり～

市からのお知らせ……………P20

広報
ひたちおたが
WEBでも読める



スペシャル対談

～輝く未来へ～

本市出身の音楽家・マシコタツロウさん(常陸太田大使)をお招きし、
常陸太田にまつわる思い出や、市の未来に向けてのお話を
郷土資料館(梅津会館)で伺いました。

お二人の幼少時代や、
思い出について

市長 私にとって思い出深い風景は、水郡線に乗っていて久慈川の手前のカーブのところから見える真弓山の採石場です。あれを見ると、太田に帰ってきたなっていう印象です。それから、私がか

子どもの頃はここ鯨ヶ丘に水道の給水塔があったんです(*昭和61年撤去)。その下に行く、ポンプで水をくみ上げる「キュンキュン」という音が耳に残っていて、これは今でも夢に見ますね。

マシコ 私は旧佐都小学校出身で、毎朝7時ぐらいに出か



けて片道3キロ近く歩いて通っていました。初夏の頃は、友達との会話を遮るぐらいの勢いでカエルが鳴いている中を歩いたなという思い出があります。目に入るのとはにかく緑というイメージですね。

市長 そうですよ。太田はどこへ行っても緑が多いですからね。

マシコ そういえば、小学校5年生の時にここ梅津会館で真弓駒を作った思い出があります。

市長 その頃はもう「梅津会館」だったんですね。私にとってこの思い出は、父親の職場(市役所)です。この1階に市民課があって、裏に税務課があった。

マシコ うちの父も市役所に勤めていたんですね。でも、最初の勤務先はここだったみたいですね。そういう歴史がある、思い出深い場所で対談できて嬉しいです。

市の歌「空があるまち」
についてのエピソードを

マシコ 平成16年に4市町村



が合併して、一致団結して頑張っていくぞ!という中で23年に東日本大震災が起こり。大久保前市長から「ここからまた市民の心を一つにして前を向き頑張っていくために、市の歌を作ってほしい」と依頼を受けて作った曲です。

当時市内にあった25校の小中学校を3日間で全部回って、歌詞のリクエストを紙に書いてもらいました。1番の歌詞で「くじらの背中」というのは、ちょうどいま我々のいる鯨ヶ丘。竜神大吊橋は、「足すくむ橋の上」。2番の「金の鳥居」は、西金砂神社。「丘の上かざぐるま」はプラトースとみ。皆さんが愛している場所を歌詞に混ぜ込んでいます。あと私は常陸秋そばが大好きなので、どうしても「蕎麦」を入れてたくて。「幸せはいつだって一番そばにあるから」という

歌詞があるんですね。でも、実は常陸秋そばとダブルミーニングなんです。



市長 実は私が「空があるまち」を最初に聞いたのは大阪でなんです。県職員時代に企業誘致の仕事をしていた際に開いたセミナーで、県内各市町村がPRをする時間があった。みんな我が町自慢をする中で、常陸太田の職員が「空があるまち」のプロモーションビデオを流したんですよ。お客さん達がみんな真剣に音楽に聴き入っていて、すごく良い音楽だなって思いました。常陸太田の印象は格段に上がったはずですよ。

マシコ ありがとうございます

す。作っただけで終わっちゃうものが多く中、常陸太田では色々な場面で活用してもらえて嬉しいですよ。例えば、正午と午後6時のチャイムとして私の曲が流れるのはとても嬉しかったですね。

市長 私が市長になってから、二十歳のつどいや賀詞交歓会などの市の公式行事の時には、必ず国歌の後に市の歌「空があるまち」をみんなで歌うようにしています。

マシコ 嬉しいですね。名実ともに受け入れてもらった証拠というか。常に市内で毎日流れていて、そういった式典でも歌ってくださっていて、本当にありがたいです。

これからの常陸太田の未来に向けて

市長 副市長時代には、長い行政経験を生かして、公共施設の再配置や公共交通の見直しなど色々な改善に取り組みました。市長になってからは、30年後、40年後、50年後も常陸太田市がきちんと存続できるように、次の世代にバトンを

つないでいく。そういう気持ちで仕事をしています。例えば、市役所北側の東部地区の区画整理。現在約430人の雇用が確保されています。



マシコ すごい！

市長 将来にわたってここに住んでいくためには、働く場が近くにあるのがベストです。周辺の市町村に働きに行く場合の利便性も良くなるよう「真弓トンネル」の整備も一生懸命やっています。また、副市長時代に台風第19号による市内地域の浸水被害がありました。一度と繰り返し返してはいけないという思いで排水ポン

プ車の整備を行いました。また、逃げ遅れは絶対にさせないと、避難行動要支援者名簿を整えるなど災害に備えています。それから大久保前市長の夢でもある、子どもたちにプロのスポーツを見せてあげたいという思いを引き継ぎ、今年夏に着工予定の新体育館整備を進めています。30年先、50年先を見据えた仕事を、一歩一歩、皆さんと一緒にやっていきたいです。



マシコ 今お話を聞いただけでわくわくする内容がいくつもありました。市民一人ひとりの生活の質が上がり、便利になっていく市の姿が思い浮かびます。私も、民間という立場から何か少しでもできることをという気持ちで、今年からフリースクールの開設に取り組んでいます。また、音楽家としてもまちを盛り上げていこうと、10月6日にパルティホールで音楽フェスを開催します。子どもたちや皆さんが愛着の湧く市になるように、エンターテインメントの面からも支えていければと思っています。

市長 未来に残るまちづくりというのは、行政だけではできない。マシコさんのような若い世代の方が、熱い思いで盛り上げてくださるのはすごく嬉しいです。

市民の皆さんや子どもたちにメッセージを

マシコ なんと！昨年フェスに参加した私のスタッフが、東京から常陸太田へ奥さんと移住します！人生を変えてしまいうほど、常陸太田には魅力があるということ。皆さんも、移住を考えている方に「常陸太田はいいところだから、ぜひ来なさいよ」と胸を張って広めてほしいと思います。

市長 今年、市制施行70周年・合併20周年という記念すべき年を私たちは迎えました。このイベントの中の最大の企画として、30年後の自分や子どもたちへのメッセージを入れたタイムカプセルづくりを考えています。30年後にどのような常陸太田になっているかは、市民の皆さんや子どもたちににかかっています。常陸太田を愛し、常陸太田のために、一生懸命お仕事や勉強に頑張ってください。

常陸太田市の

あゆみ

時をかさね

昭和29年7月の市制施行から、令和6年までの70年の歴史を振り返ってみましょう。



昭和39年7月
市制10周年記念式典開催



昭和47年8月
七夕まつり



昭和42年8月
秋田竿燈来演

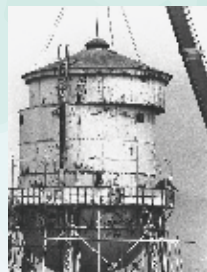


昭和52年7月
秋田市と
姉妹都市提携締結



昭和53年7月
市役所新庁舎完成

昭和61年9月
東二町
水道タンク撤去



平成11年11月
中国余姚市と友好都市
関係締結



平成14年
常陸太田駅前風景



平成15年3月
第17回金砂神社
磯出大祭礼執行

昭和

昭和29～昭和39年[1954～1964年]
新しい時代に向かって動き始めた常陸太田市

- 29 7月 1町6か村が合併し市制を施行 常陸太田市が誕生 *
- 30 3月 世矢・河内村を編入合併
- 31 3月 市政だより発刊
- 32 9月 都々一坊生誕155年祭、顕彰碑建碑式
- 38 10月 上野―常陸太田間準急列車運行開始

昭和40～昭和49年[1965～1974年]
市民生活が豊かになった高度経済成長期

- 40 3月 西三町に市消防庁舎完成
- 42 3月 広町・真淵線開通
- 43 11月 全国青年大会で女子バレーボール優勝
- 44 10月 皇太子殿下、西山荘(西山御殿)ご訪問
- 47 4月 太田駅前に歩道橋完成
- 49 10月 茨城国体開催(ボクシング競技会場)

昭和50～昭和59年[1975～1984年]
教育・スポーツ・レクリエーション施設の充実

- 52 7月 山吹運動公園市民体育館開館
- 55 5月 郷土資料館開設
- 57 4月 山吹運動公園武道館開館

昭和60～平成6年[1985～1994年]
芸術・文化ふるさとの情報を発信

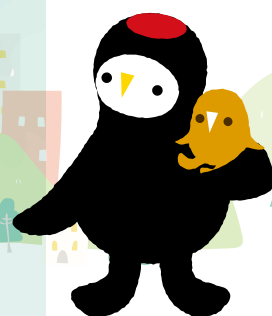
- 60 4月 科学万博茨城パビリオン「常陸太田市の日」
- 11月 グリーンふるさとフェスティバル開催
- 62 11月 第1回都々逸全国大会開催
- 63 11月 パルティホール開館

平成 元年

- 4月 舞鶴橋開通
- 2 7月 市立図書館開館
- 3 10月 クリスト・アンブレラ展開催 *
- 6 2月 住民登録人口4万人達成
- 3月 新機初橋開通

平成7～平成16年[1995～2004年]
市民が安心して暮らせるまちづくり

- 8 10月 中国余姚市友好親善訪問
- 9 7月 市ホームページ開設
- 10 3月 幸久大橋開通
- 10月 白羽スポーツ広場オープン
- 11 4月 生涯学習センター開館
- 12 7月 市民バス運行開始
- 13 4月 防災行政無線(固定系)開局
- 5月 総合福祉会館開館
- 14 2月 新清掃センター完成
- 15 8月 温水プール開館
- 16 1月 新消防庁舎完成
- 2月 合併協定調印式 *
- 7月 市制施行50周年記念式典開催





平成23年3月
東日本大震災発生



平成23年7月
新常陸太田駅舎
完成披露式典



平成24年3月
市の歌
「空があるまち」完成



平成26年12月
合併10周年記念式典開催
「じょうづるさん」市公式マスコット
キャラクターに任命



平成27年10月
臼杵市と
姉妹都市提携締結



平成28年7月
道の駅ひたちおおたオープン



平成28年9月
県北芸術祭開幕



平成16年12月～平成26年〔2004～2014年〕 新「常陸太田市」が新たな一歩を踏み出す

- 16 12月 常陸太田市・金砂郷町・水府村・里美村が合併し、新「常陸太田市」誕生
- 17 4月 日立電鉄線廃線
- 19 7月 牛久市と姉妹都市交流に関する提携締結



- 8月 常陸太田市・秋田市
仙北市三市連携交流
提携締結



- 10月 集中曝涼初開催
- 20 9月 第1回常陸太田朝市開催
- 11月 国民文化祭いばらき開催
- 21 3月 木島大橋開通
- 11月 合併5周年記念式典開催
- 12月 駅前歩道橋撤去

- 22 4月 プラトーさとみ リニューアルオープン
- 8月 結婚相談センター「YOU愛ネット」開設
- 24 7月 鯨ヶ丘トンネル開通
- 9月 かなさ笑楽校開校
- 26 3月 竜神大吊橋で
ブリッジバンジー開始*



平成27～令和6年〔2015～2024年〕 時をかさね ともにつながる まちづくり 輝く未来へ

- 29 9月 水戸徳川家墓所で復興記念碑除幕式
- 30 4月 じょうづるはうす開所



- 令和
元年 9月 いきいき茨城ゆめ国体開催(ソフトボール競技会場)
- 10月 台風第19号により市内に甚大な被害

- 3 4月 こきキラ開所



- 4 9月 ゼロカーボンシティ宣言表明
- 5 1月 「長生き上手音頭」お披露目
- 3月 東部地区大型商業施設オープン*
- 6 2月 自動運転EVバス「じょっぴー」定常運行開始*

* の写真は表紙に使用しています。

To be continue...